

長すぎる
ひどすぎる

選手交代

今でしょ



8/22~9/8
県知事選

県民の声で県政は変えられます

前茨城大学副学長・「明るい会」公認・日本共産党推せん

地方行政のスーパーエキスパート

田中しげひろと

所得を増やし、ムダを減らす

フレッシュ茨城を



茨城に住んで38年。ことしの3月に茨城大学を定年退職しました。茨城県は、豊かな自然に恵まれた県です。とてもくらしやすい環境です。1975年4月に茨城大学人文学部に赴任してから、地方自治や経済学を学生とひとしよに学んできました。その間、地方財政危機に直面した自治体の財政分析などに数多く携わってきました。「わたしたちのまちづくり学校」や「自治体セミナー」を自治体の職員や議員、市民のみなさんとひとしよに開催してきました。

昨年、東日本大震災で大きな被害を受けた潮来市の後援をいただき、災害をテーマにしたまちづくり学校を開催しました。震災復興・放射能から子どもたちを守ることは、喫緊に取り組みしなければならない課題です。私が学んできた地方自治(住民自治)が花開く時代を県民のみなさんとともに実践します。

プロフィール
●75年京大大学院経済学研究科博士課程修了。茨城大人文学部講師。88年人文学部教授、04年人文学部長(2期4年)、10年副学長(1期2年)。●県の固定資産評価審議会委員、県青少年教育施設検討委員会委員、古河市行財政改革委員会アドバイザー、東海村総合計画策定委員会委員、水戸市史編さん委員などを歴任。●現在、茨城大名賞教授、茨城県自治体問題研究所理事長、茨城県労働者学習協議会会長。●家族:妻、1男1女。●趣味:カラオケ、囲碁、水泳、旅行、日帰り温泉めぐりなど。水戸市堀町在住。

県民自身の手で 県政を変える時

県政最大与党の自民党も第2、第3党の民主党や公明党も候補者を出せません。県民自身の手で県政を変えるときです。「県民が主人公」をつらぬく一番の保証「プレず」に対決」で句の日本共産党と力をあわせませう。

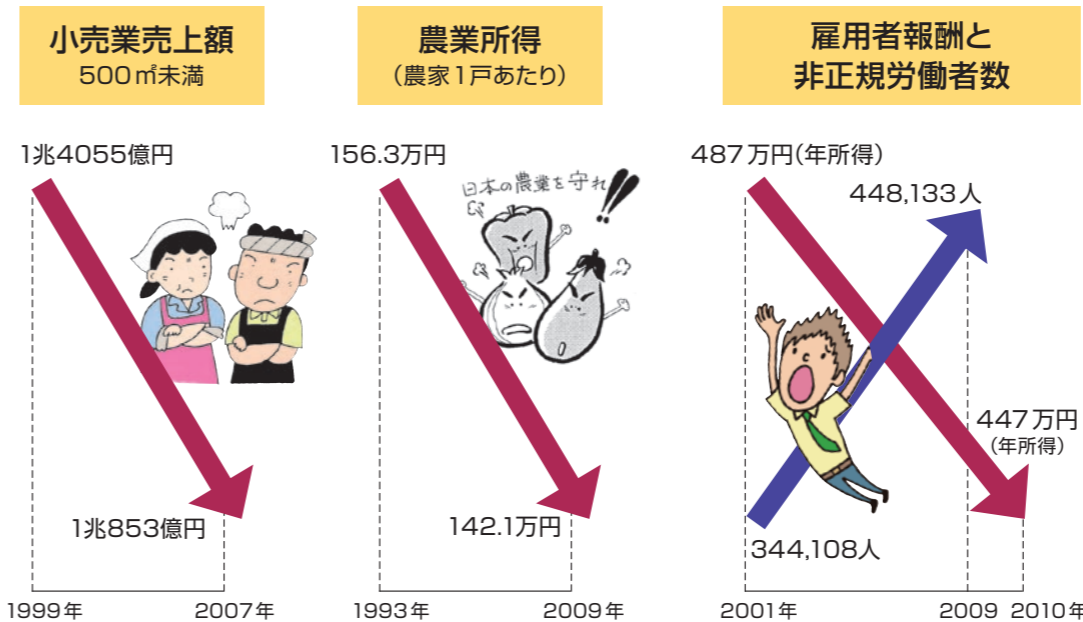
明るい会

■名称と代表 「明るい民主県政をつくる会」
会長 谷萩 陽一(弁護士)
■主な構成団体 茨城県労働組合総連合、農民運動茨城県連合会、茨城県商工団体連合会、新日本婦人の会茨城県本部、茨城県民主医療機関連連会、日本共産党茨城県委員会、茨城県平和委員会、個人などで構成。1991年に結成され、以降6回の県知事選挙をたたかってきました。ボランティア・サポーター大募集中で～。

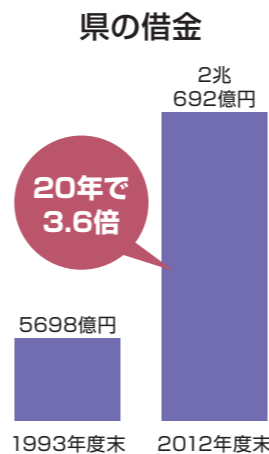
明るい茨城
2013年8月号外

明るい民主県政をつくる会の見解を紹介します。発行:明るい民主県政をつくる会。
水戸市白梅3-9-7白梅ビル1階 TEL 029-291-3808 FAX 029-291-3818
E-mail ● akarui-ibaraki@silver.plala.or.jp ホームページ ● http://akarui-ibaraki.net/

橋本県政20年で茨城は 県民所得が減り、ムダを増やす



橋本県政20年で地域経済は衰退、くらしと生業、医療・福祉、教育は後退を続けています。一方、ムダな大型開発が優先され、県の借金は3・6倍に増えています。



売れ残った工業団地
工業団地開発に莫大な税金投入。住宅供給公社は破産。さらに売れ残った土地は1207haにのぼります。

常陸那珂港
総事業費6800億円で、すでに3400億円税金投入。入港船舶は1日3.5隻。さらに拡張計画。

ハッ場ダム関連事業
実績を上回る過大需要予測で、水源開発。高い水道料金の原因です。水戸市などで大幅値上げ計画。

「くらしをよくして欲しい」「政治を変えて欲しい」。でも「変わらないのでは」...。住民が力を合わせれば、政治は必ず変わります。茨城でも、県民の力が政治を変えるエネルギーです。停滞する20年の県政を変えようではありませんか。

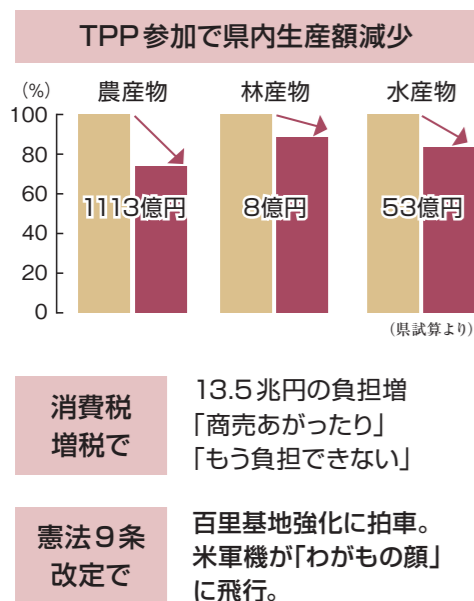


くらしが一番

県政を
変えます



田中しげ
ひろ



安心、豊かで、平和な茨城を

安倍政権の暴走に立ち向かい

「国の悪政いいなり」では、茨城県が衰退するばかりです。安倍政権の暴走に立ち向かいます。「国の悪政いいなり」から、「県民を守る防波堤」へ、県政を変えます。

TPP参加は撤退 安全な食料は日本と茨城の大地から
消費税増税は中止 所得を増やして景気回復
憲法改悪を許さない くらしと平和にいかす

現知事は…
日本原電の再稼働にむけての申請について「あえて異をと
なえるものではない」と発言

国民の多数が望む「原発ゼロ」。東海第2原発廃炉の署名も30万人におよんでいます。それでも日本原電は「再稼働を
目ざす」と発言。知事も容認しています。こんな県政を変えます。日本で初めて

原発がつけられた茨城県から「原発ゼロ」を発信し、東海第2原発の再稼働をさせません。子どもの健康調査を実施します。豊かな自然を生かした自然エネルギー大
県で、新産業・雇用を創出します。

日本初の原発立地県から世界と日本に

「原発ゼロ」を発信

東海第二原発の再稼働をさせません

いまの県政は
2013年「茨城早わかり」「統計でみる都道府県のすがた」などより

医師数(人口10万人あたり).....46位
老人ホーム定員(65歳以上人口千人あたり).....38位
児童福祉費(17歳以下人口1人あたり).....41位
知的障害者援護施設数(人口100万人あたり).....46位

●国民健康保険証のとりあげ率.....2位
●公害苦情件数.....1位

県の職員・教職員の削減
19年間で5000人
知事の退職金(4年ごとに支給)
5回で2億3000万円

●田中しげひろは知事退職金は返上します

- 産業
 - リフォーム条例、公契約条例等を制定し、中小零細企業支援を抜本強化。すべての農家に価格・所得支援。
- 雇用
 - 福祉・教育・防災分野の公共部門を拡充。
 - サービス残業・下請けいじめ根絶。
 - 最低賃金時給千円以上を国に求める。
- 生活
 - 高校卒業までの医療費無料化。
 - 国保税の引き下げを支援。
 - 中3まで35人学級。私学助成を拡充。
 - 安心の地域医療・介護体制の充実。
 - 水道料金の引き下げ。

県民の願いは
(2012年県政世論調査より)

1位 医療体制の充実32.3%

2位 高齢者福祉体制の充実30.5%

3位 子育て支援・少子化対策 ...27.5%

4位 高齢者の健康増進17.9%

県民の願いにこたえず、大型開発を優先するいまの県政。税金の使い方が間違っています。くらし・福祉・雇用優先へ、税金の使い方を変えます。常陸那珂港の拡張、霞ヶ浦導水事業は中止します。財政再建へ乗り出します。



全国 8位の財政力を生かして
くらし・雇用を守ります

県民の願いと県政の「ねじれ解消」